

# 月刊 やちまなこ

2011.12.15 発行

No. 169

## 12月号

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより



冬の夜空に輝く月が徐々に欠けてきた。昨年12月21日以来、約1年ぶりの皆既月食が見られ、突き刺すような寒さを我慢しながら師走の天体ショーを見た。やがて周りの星座が輝きを増した空には赤みを帯びた満月が浮かび、遠くの間の中からキタキツネが鳴いていた。

# コッタロ川と湿原のほとりから

138 12月のコッタロ湿原便り

コッタロ在住・中本 アキ子(文) 中本 民三(写真)

天からの手紙を心待ちし乍ら迎えた師走，3日夕刻より降り始めた雨は幸運にも夜半に雪へと変じ4日朝にはまばゆいばかりの初積雪に万歳三唱！の後，ワクワクドキドキの初滑り感謝感激した一日，冬本番と云えましょう。

『秋風のロンド』が息永く軽快なリズムを奏でていたコッタロ盆地で，それを子守歌代わりに分厚い落葉の布団の下でまどろんでいたカエルとミミズの面々もあわてて土中にもぐり込んだものと思われる。それでも温暖化傾向の強まる中，今季は凍土になるのもひと月以上遅くなっているのに加え早めの降雪が幸いして，12月2日最後の根菜類を掘り上げることが出来ました。

これ迄一番の冷え込みとなった本日(10日)でさえ-15は一日のみ。氷点下二桁台は数えるほ



どで明日からは再び寒気もゆるむとの予報です。それがあらぬかすでに全員南へ渡ったものと思っていたキジバト一羽が居残っているのに気付き，念の為『北海道野鳥図鑑』をひもといてみると“稀に越冬する個体もいる”との記述に驚く一方，安心もした次第ですが，ヒヨドリやアオサギ同様越冬数が増えるかもしれませんね。

ところで全道的に山の木ノ実が不作との報道に？と庭に目をやればカラ松，エゾ松，西洋松の混合林は殊の外豊作で赤エゾの松笠から丁度はじけ出た種実

を，目ざとい「カケスの君」が見逃すはずもなく，先客の雀一群を追い払ってたらふくついばんだ後，どうしようもなく眠気をもよおしトロンとした瞳で大欠伸。こんなの初めて拝見させて頂きました。因みにアカエゾ松はその名の通り深紅で目のさめるような鮮やかさ。写真は6月花盛りの頃のもので，半年経つと太った松ボックリに変身する自然のメカニズムの面白さをとくと観察したシーズンでした。

さて往く年も残り少なくなってまいりましたが，沢山の奇抜な野生の演出と出会いに改めて感謝し，来る年がみのり豊かな年でありますよう祈念して…。 合掌



## 湿原の住人たち その129

## アカゲラ（赤啄木鳥）

全長約24cmのアカゲラはお腹と頭が赤いきつつきの仲間です。でも、雄の後頭部が赤いだけで雌は黒色です。肩に見える逆八の字の白い羽の模様もアカゲラのトレードマークです。飛び方は前号で紹介したヒヨドリと同じ波状飛行です。一面が銀白色になる季節、静かな雑木林の中で聴く機械のように正確な同音連打の響きは、クールな木彫り職人の演奏会のようなようです。あんなに規則正しいリズムを叩けるのは、幹を丈夫な爪でしっかりとつかみ、尾羽で体を支えているからで、まさに持って生まれた匠の技！？エサ台にやってくることも多いので注目してみてください。



## ヒバでドア飾りを作りました。



自然ふれあい行事「ヒバでドア飾りを作ろう」を町内在住の葉佐知恵美さん（リバティフラスクール講師）をお迎えし開催しました。ヒバやまつぼっくりを使った海外のクリスマス飾りを紹介してもらった後、作業を開始しました。ヒバの枝をカットし数本ずつワイヤーでまとめ、中心になる一本の枝の中央・左右に、全体のバランスを見ながらワイヤーでぐるぐる巻き付けて土台を作りました。カラマツやハンノキの実、菱の実、オオバユリの実などを飾り付け、リボンをつけ完成させました。「3時間があっという間で楽しかったです」「素敵なドア飾りが出来てうれしいです」という感想がありました。香りとともに楽しんでいることでしょう。



## ネムネムの塘路周辺うろうろ日記 Vol.34「アオサギに見る仕事の進め方」

アオサギの調査を終えると、すでに師走に突入していました。せめて年内に仕上げようと思っていた仕事が全然片付きません。

調査でアオサギの巣を見ていると、全部の巣がきちんと出来上がっているわけではないんですね。作りかけで終わっている小さな巣もたくさんあります。他のアオサギとの競争や外敵、または足場が悪くて崩れたなど、何らかの事情で巣の製作を放棄しているのです。中には中途半端な仕上がりの巣が1本の木にたくさん出来ていて、「もうちょっと考えてから作れや〜！」と突っ込みを入れたくなります。

しかし本当は私、アオサギの事を笑えないんです。締め切り間際原稿を急ぎ進めていると、電話がかかってきて、なにかお問い合わせがある。メールを見ると、急ぎ原稿の校正が入っている。お客さんが来る・・・バタバタとして夕方はっと気づくと、どれも中途半端の仕事が机に並んでいて、どれも仕上がっていない。アオサギの巣作りと大して変わらなかつたりします。

辻 ねむ（標茶町郷土館学芸員）

11がつ 30にち

ばしょ とうろ



1本の木に5つも巣をかけたいて、どれも中途半端に終わっていたりします・・・。

# 1月の行事カレンダー

各行事とも事前の申込が必要です

## 手作り連凧をあげよう

[日時] 1/7 (土) 10:00~12:00

[定員・参加料] 15名、材料費100円

[場所] 塘路湖エコミュージアムセンター

[持ち物] 凧に描く図案を用意。

申し込み 問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで 015-487-3003

## 厳冬の湿原ハイク [日時] 1/15 (日) 10:00~12:00

申し込み 問い合わせは 温根内ビジターセンターまで 0154-65-2323

## 塘路湖・シラルトロ湖・コッタロ湿原周辺の自然情報

【植物】(11/25) フキノトウ(12/12)ツルウメモドキの実・ハンノキの実 (12/13)アズキナシの実  
【鳥】(11/18)オオバン・タンチョウ (11/20)ヒシクイ (11/28)ホオジロガモ・カワセミ (11/14)(シマ)エナガ  
(11/30)ヒシクイ (12/5)オジロワシ・オオワシ (12/6)ユリカモメ・カワアイサ (12/9)オオハクチョウ・コガモ  
(12/11)ウソ(12/12)ノスリ・氷上に整列したアオサギ約30羽・ヒヨドリ・アカゲラ・マガモ  
【その他】(11/17)エゾシカ・エゾタヌキ(12/8)塘路湖結氷 (12/11)御神渡りの出現

コッタロ展望台のトイレは凍結防止のため11/1~4/30まで閉鎖しています。

道路は圧雪やアイスバーンの路面が多くなってきました。車の運転は車間距離をとって安全運転をお願いします。徒歩の方は足下に気をつけて防寒対策を万全にして散策をお楽しみください。

塘路湖に御神渡りが現れました。氷板の高さや長さは今後の天候次第ですが、13日現在(写真) 出来始めのため氷の盛り上がりは数センチで、蛇行する氷の割れ目から水がしみ出していました。

湖上を歩くのは危険です。観察の際は安全に十分注意してください。

日出・日入時間

12/15(6:46, 15:48)・1/1(6:54, 15:58)・1/14(6:52, 16:11)

2012年は1月5日から開館します。



メリークリスマス

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あるこっと

088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野

TEL:015-487-3003 FAX:015-487-3004

E-mail:[emc@hokkai.or.jp](mailto:emc@hokkai.or.jp)

開館時間 10:00~16:00(4月~10月は17:00まで)

休館日:毎週水曜日 12月29日~1月3日 入館無料